

平成27年度総合型地域スポーツクラブサミット in 山形

8月29日(土)、今年度の「サミット in 山形」が開催されました。今年度から会場が4地区の輪番制になり、今年は庄内地区での開催となりました。会場は東北公益文科大学で、充実した施設での研修会となりました。

今回のサミットは「持続可能な総合型地域スポーツクラブのために」と題した基調講演と3つの分科会という構成で行いました。参加者数は113名と昨年度よりも多くの方々にご参加いただきました。クラブ関係者はもちろん市町村行政職、スポーツ推進委員の方々にも多く参加いただきました。

今回のサミットを通して、県内の総合型地域スポーツクラブの活動が益々活発になり県民のスポーツの機会が充実することを願います。

「サミット in 山形」は、**県教育委員会、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、県体育協会の三者共催で行う、県内総合型クラブ関係者が一堂に会する研修会です。**



会場:東北公益文科大学ホール

基調講演

演題:「持続可能な総合型地域スポーツクラブのために」

講師:山本 理人 氏(北海道教育大学教育学部岩見沢校 教授)



「従来の資源を編みかえる必要がある。部活が50年もつとは思えない。スポーツの愛好者としてスポーツの場はずっともってほしい。」という指摘は参考になった。ドイツの話、文化としてのスポーツの話、事業評価も含め、こういう話を聞くことができ有り難かった。

参加者の声

クラブにとっての大切な7つの要件は改めて考えさせられました。1からクラブ全員で確認して長く続けられるクラブにしたいと思います。



第1分科会

テーマ：「総合型地域スポーツクラブで高めよう、子どもの元気！」

説明：八城 良美 氏（山形県教育庁文化財・生涯学習課 社会教育主査）

事例発表：齋藤 武司 氏（NPO 法人かみのやまスポーツクラブ）

事例発表：小羽 隆一 氏（NPO 法人たかだてスポーツクラブ）



地域と総合型クラブとのかかわりが今後
もっと増えていくのだからと思います。
特に子どもたちを見守り育てるところまで
かかわり合うのが、クラブのためにもなる
のでは。「儲からないけれどやる」
ことが大事だと思います。

参加者の声

第2分科会

テーマ：「健康づくりを応援します！」

事例発表：今井 徹 氏（NPO 法人とざわスポーツクラブふれスポ cha[®]）

村上万里子 氏（戸沢村地域包括支援センター センター主査）

事例発表：長岡 恒平 氏（いいでスポーツクラブキララ☆）

伊藤紀代子 氏（飯豊町健康福祉センター健康医療室 室長）

実技講師：三浦 洋介 氏（鶴岡市レクリエーション協会 理事）

楽しかった。子どもから高齢者
まで活用できるレクリエーション
を実践することができた。クラブに
持ち帰って参加者たちと行いたい
と思う。

参加者の声



第3分科会

テーマ：「もう一度見直そう！総合型地域スポーツクラブの力」

講師：伊倉 晶子 氏（埼玉県体育協会 クラブアドバイザー）



クラブの運営のことだけが気になり、事業
をリニューアルするための話し合いの時
間がなかなかとれない。じっくり話し合
うことの大切さを再認識した。

参加者の声

